



金沢市立鳴和中学校 学校だより

い ら か

令和7年8月29日〈9月号〉

〒920-0804

金沢市鳴和2丁目10番60号

TEL 076-252-5228



2学期がスタートしました！

夏休みが終わり、2学期が始まりました。まずは、生徒の皆さんや教職員の皆さんが大きな事故や怪我無く、元気に登校してくれたことをとても嬉しく思います。

2学期には「運動会」「合唱コンクール」「文化発表会」と大きな行事が控えています。みなで1つのものを作り上げることを通して、協力することや自分の役割を果たすことを学び、先輩が創りつないできた「伝統」に、今のみなさんだからできること、今のみなさんにしかできないことを積み上げていってください。まだまだ暑い日が続きますが、学校生活、学校行事を通して、試行錯誤、切磋琢磨しながら、みなさんが成長していくことを期待します。

目指すは、「自他共栄～自分も相手も大切に」の学校！

「ない」ではなく「気付いていないだけ」

皆さん一人一人には、自分のよさ、自分らしさが必ずあります。しかし、人間は、他人のよさ（才能）はうらやましがらるのに、自分のよさについては気が付かないという不思議な習性をもっているようです。そして、なぜか、自分については、欠点ばかりに目を向けてしまいます。「自分にはよいところがない」「自分には才能がない」のではなく、単にそれに気が付いていないだけなのです。



「ありがとう」を伝えよう

人のよいところに目を向けて「ありがとう」を伝えていきましょう。わかりやすいアクションに対してだけでなく、その人の活動に向かう心意気や醸し出す雰囲気、態度や言葉、「その人の存在そのもの」にも感謝の気持ちを伝える機会をもってください。

正しさ、の前に優しさを

正しさには2種類あると思います。一つ目は、数値的・科学的に正確であること。二つ目は、世の中の常識的な正しさ。こちらは、自分が正しいと思っていても、ほかの人はそう思っていない可能性があります。だから、自分の基準に照らし合わせて、これが正しい、あなたは間違っているという伝え方をすると、相手は気分を損ねてしまうこともあるかもしれません。正しさと優しさの共存は難しいこともあります。人に何かを伝えたいと思うのであれば、まずは「なるほどね、そんな考え方もあるんだ」と受け止め、その後に「あなたの考えもいいけれど、こういう考え方もあるよね」と相手にやわらかく伝えることで、優しさも届けられるのではないかと思います。

相手に受け入れられやすい言葉を選ぶ

言葉は選ぶものです。相手を傷つける言葉は選ばず、相手に受け入れられやすい言葉を選ぶことでコミュニケーションは円滑になります。言葉をなんとなく使うのではなく、選んで使う。日常的に「言葉は選ぶ」を習慣にしていきましょう。

自分のよさ、自分らしさを思い切り出せる学級が、安全に安心して学べる場であり、居心地のよい空間です。目指すゴールは、「級友一人一人を大切にできる学級」です。2学期も、相手の気持ちが温くなる言葉を互いに伝え合い、多様性を認め、他者を尊重し、互いを認め合えるよう努めていきましょう。